

2, イチョウ科の巨木 Ginkgoaceae

イチョウ科の巨木は以下に分類する。

2-A イチョウの巨木

■イチョウの中国伝来説を検証する。

イチョウは古い時代に中国から伝来したと言われている。いったいつ頃伝来したものか、そして、日本のイチョウの巨木は本当に中国原産であるかを検証してみよう。

イチョウは「生きた化石」と呼ばれている。イチョウの最古の化石は2億1千万年前で、葉の形状は現在のイチョウと変わらない。そして、今から170万年前の氷河期に絶滅したと考えられていた。(日本でも北海道等で化石が発見されている)

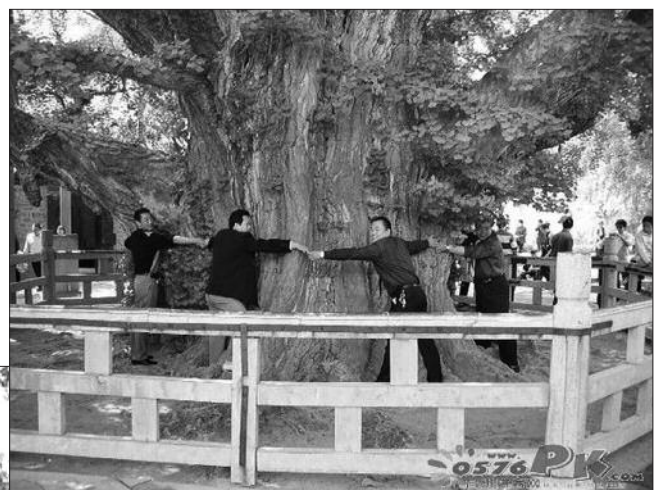
ところが、西暦900年代、中国の浙江省の天目山(上海の200キロ南西)で見いだされた(現在も自生状態のイチョウが存在する。下記画像)。一説には天目山より100キロ北西の安徽省宣城市付近で発見されたともいう。これが「生きた化石」と呼ばれる理由だ。その後、銀杏が美味しい事から普及し、山東省定林寺の境内には、イチョウの巨木が存在する(下記画像)。発見時期には諸説あるが、定林寺のイチョウは幹周10m程で、樹齢は約700年程。そんなに古い話ではないようだ。

日本には鎌倉時代に仏教伝来に伴って伝来したとの説もあるが、これを裏付ける文献がない。文献に出てくる最初のイチョウは室町時代前期になる。ところが、1323年(鎌倉時代末期)に、当時の元の寧波から日本の博多に航行中に沈没した難破船の調査において、銀杏が発見されたのである。(疑問視の意見もある)

これらが、イチョウに関するこれまでの資料である。



イチョウの化石(Web 画像)



定林寺境内の大イチョウ。(写真・Web 画像)



天目山の天然イチョウ(写真・Web 画像)

雌雄異株の樹木で、生命力が旺盛だ。2010年3月に鶴岡八幡宮の大イチョウが倒木したが、翌年には、その根元からひこばえが多数出て、早くも二代目が成長を始めている。雄花の花粉が雌花の胚珠に到達すると、精虫を生じ、初秋に受精する。この精虫は平瀬作五郎が発見した。すなわち、雌雄の株がなければ結実しない樹木である。中国から銀杏を多数持込めば、発芽した株はおそらく両方あるはずだ。種を植えてから十数年で結実する事から、繁殖力も強い。

さて、本題は日本のイチョウの巨木は、本当に中国伝来か?という問題である。中国で発見されたすぐ後に持込まれたと仮定しても、樹齢1000年以上の巨木はない事になる。そして、雄株だけの地域もないはずだ。それを検証する為に全国の主なイチョウの巨木を雄株・雌株に分けて、その分布図を作ってみた。それが次の図である。



イチョウが仏教伝来と関係するならば、当時の中央である近畿地方周辺にイチョウの巨木が多く残されていなければならない。ところが、実際には近畿地方にはほとんどイチョウの巨木がなく、東北から関東に分布の中心があり、しかも圧倒的に青森県に雄株の巨木が集中している。

そして、雄株と雌株のイチョウの分布が均一ではなく、雌株は九州を中心に多く、他の地域には少ない。この偏りはいったい何を意味するのであろうか。決定的証拠はないにしても、状況証拠として、中国伝来説は疑問符を一つ付けなければならない。

次に、イチョウの巨木の樹齢を考察してみよう。生命力の旺盛なイチョウの巨木は、滅多に倒木する事がないため、年輪調査のサンプルがほとんどない。ところが、材が柔らかく、まな板等に使用されるため、材木店には樹齢 100 年程の巨木から採った巨大な一枚板がある。その年輪調査から、平均年輪幅は約 2 ミリであった。この結果から、樹齢 1000 年の幹周を算定すると、幹周約 12.5m となる。この数字を見て、巨木の知識のある方は、違和感を覚えるであろう。そう、日本のイチョウの巨木はこんなものではないのである。日本一の青森県は北金ケ沢のイチョウにいたっては幹周 21.1m というんでもない大きさなのである。中国で発見されるもっと以前に、日本にイチョウが存在していたのではないか。こんな疑問が浮かぶのである。

本当に日本のイチョウの巨木は中国原産なのであろうか。もう少し、厳密にイチョウの樹齢を考察し、この疑問に迫ってみたい。

■イチョウの巨木樹齢を考察する。



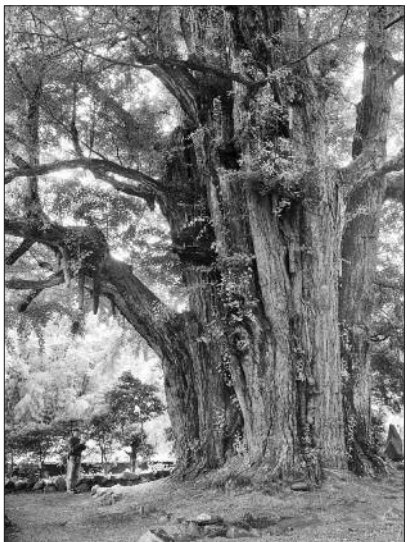
おおいちょう
大銀南木 (青森県) 幹周 M12.4m

法身国師が75歳の折り、この地に庵を結んでイチョウを植えたと言えられる。西暦1263年と記載が残る貴重な一本。樹齢750年。(2015年現在)

幹周と樹齢の関係を探ってみよう。おおよその半径は1,974^{mm}。イチョウの板材の平均年輪幅は約2^{mm}であることから、算出される樹齢は987年。この結果と、実際の樹齢から、関数は0.76。

巨木の切株から知られている事は、巨木になると、成長スピードが極端に旺盛になる時期がある(おおよそ100年~300年頃の年輪幅が最も大きい)。

そのため、樹齢100年程の板材の平均年輪幅と、樹齢500年以上の平均年輪幅とは、同一に考えられず、比較関数が必要になる。これが、0.76という参考数字となる。



ほうりゅうじ
法龍寺のイチョウ (茨城県) 幹周 M11.65m

西暦1311年に覚如上人によって植えられたという記述が残されている。樹齢704年。(2015年現在)

上記同様、幹周から求められる樹齢は927年となる。このイチョウの関数も0.76。

よって、樹齢500年を越えるようなイチョウの巨木の幹周との関数は0.76として、ほぼ問題がないと考えられる。



きたかねがさわ
北金ヶ沢のイチョウ (青森県) 幹周 M21.1m

上記2点のイチョウの巨木から、幹周から求められる樹齢の関数が0.76であるとの結果を受け、日本最大のイチョウの樹齢を考察してみよう。

幹周から求められる樹齢は約1,300年である。この数字は、日本の巨木を長年見続けてきた筆者も納得できる数字で、これ程の巨体が、数百年でできるはずもなく、又、数千年という極端な数字も違和感がある。

しかし、中国でイチョウが発見された年代より以前に日本にこのイチョウが存在していた事は確かなようだ。

だが、なぜこの事実にこれまで専門家が気が付かなかったのか。それは、1982年に刊行された、樹木の専門家であった、金沢大学教授・里見信生氏の「石川県の巨樹」という書の中で、北金ヶ沢のイチョウの幹周が12.9mと記載されるように、近年まで東北の僻地にある巨大生命体を、専門家でさえ全く認識できていなかった事にある。

■北金ヶ沢のイチョウは日本の在来種ではないか。

以上のイチョウの樹齢考察から、東北最北端の地にある北金ヶ沢のイチョウ(雄株)が、日本の在来種である可能性が出てきた。そして、東北から関東にかけて雄株のみが分布するのは、このイチョウのクローンである事で、説明がつく。九州に雌株が多く分布するのは、銀杏を重要視した中国の影響があると考えれば、これも説明がつく。いずれにしても、進んだDNA鑑定等、専門家による調査で、この疑問が解決できると提言して、この項の結論としたい。

2-A イチョウの巨木

■イチョウの巨木評価は以下とする。

AA 幹周おおむね 16m 以上の単幹樹、同等評価のイチョウの巨木。

A 幹周おおむね 11m～16m の単幹樹、同等評価のイチョウの巨木。

B 幹周おおむね 8m～11m の単幹樹、同等評価のイチョウの巨木。

C B 評価以下のイチョウの巨木。

■全国の主なイチョウの巨木 AA・A 評価

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
AA	北金ヶ沢のイチョウ 写真 I-001	M21.1m(0.5m 2008)	40m	青森県西津軽郡深浦町北金ヶ沢	県
A	乳保神社のイチョウ 写真 I-002	M16.07m(1.3m 2009)	22m	徳島県板野郡上板町瀬部字西井内	国
A	福成寺のイチョウ 写真 I-003	M15.25m(1.3m 2011)	25m	熊本県下益城郡美里町甲佐平	町
A	根岸の大イチョウ 写真 I-004	M15.0m(1.3m 2006)	40m	青森県上北郡おいらせ町根岸	県
A	長泉寺のイチョウ 写真 I-005	14.5m	25m	岩手県久慈市門前	国
A	神戸のイチョウ 写真 I-006	M14.4m(1.3m 2007)	36m	長野県飯山市瑞穂字神戸	県
A	法量のイチョウ 写真 I-007	M14.1m(1.3m 2006)	36m	青森県十和田湖町法量字銀杏木	国
A	菩提寺のイチョウ 写真 I-008	M13.5m(1.3m 2008)	42m	岡山県勝田郡奈義町高門	国
A	大銀南木 写真 I-009	M12.4m(1.3m 2006)	26m	青森県上北郡七戸町銀南木	県
A	上日寺のイチョウ 写真 I-010	M11.8m(1.3m 2011)	24m	富山県氷見市朝日本町	国
A	去川のイチョウ 写真 I-011	M11.2m(1.3m 2014)	30m	宮崎県宮崎市高岡町内山	国
A	法龍寺のイチョウ 写真 I-012	M11.65m(1.3m 2007)	35m	茨城県久慈郡大子町上金沢	なし
A	宮田のイチョウ(北株) 写真 I-013	M12.8m(1.3m 2006)	20m	青森県青森市宮田	市
A	葛飾八幡神社の千本イチョウ 写真 I-014	M12.2m(1.3m 2007)	m	千葉県市川市八幡	国
A	折曾のイチョウ 写真 I-015	M11.2m(1.3m 2006)	25m	青森県西津軽郡深浦町関	なし
A	常瀧寺の大イチョウ 写真 I-016	M10.8m(1.3m 2008)	30m	兵庫県丹波市青垣町大名草	県
A	苦竹のイチョウ 写真 I-017	M8.0m(1.3m 2008)	32m	宮城県仙台市銀杏町	国
A	本郷のイチョウ 写真 I-018	M11.56m(1.3m 2015)	23m	千葉県市原市本郷	なし
A	飛騨国分寺の大イチョウ 写真 I-019	M10.0m(1.3m 2008)	37m	岐阜県高山市総和町	国

■全国の主なイチヨウの巨木 B 評価

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	毛佐観音堂のイチヨウ 写真 I-020	8.8m	35m	岡山県真庭市後谷	市
B	大久保の乳イチヨウ 写真 I-021	M9.78m(上部 0.3m 2012)	26m	徳島県名西郡神山町神領西大久保	町
B	銀杏ノ木窪の大イチヨウ 写真 I-022	M13.2m(分岐 0.6m 2008)	30m	青森県三戸郡階上町道仏字銀杏の木	町
B	滴水のイチヨウ 写真 I-023	株周 M12.05m(1.3m 2007)	35m	熊本県熊本市北区植木町滴水	県
B	切畑の乳銀杏 写真 I-024	M9.85m(1.3m 1983)	40m	新潟県五泉市切畑	県
B	川原町のイチヨウ 写真 I-025	11.9m	28m	青森県西津軽郡深浦町深浦	なし
B	中山路のイチヨウ 写真 I-026	M11.47m(1.3m 2015)	15m	徳島県美馬市美馬町銀杏木 69	市
B	長田のイチヨウ 写真 I-027	11.9m	25m	福岡県みやま市瀬高町長田	県
B	丸森のイチヨウ 写真 I-028	M11.75m(1.3m 2006)	25m	宮城県伊具郡丸森町四反田	県
B	雨乞のイチヨウ 写真 I-029	M12.2m(1.3m 2006)	36m	宮城県柴田郡柴田町入間田字雨乞	国
B	親鸞上人乳銀杏 写真 I-030	11.5m	28m	新潟県長岡市寺泊野積	市
B	白幡のイチヨウ 写真 I-031	11.4m	23m	福島県相馬郡新地町字駒ヶ嶺	県
B	大日寺の大イチヨウ 写真 I-032	株周 11.88m(1.3m 2014)	28m	島根県倉吉市桜	県
B	浄蔵寺の大イチヨウ 写真 I-033	11.0m	28m	群馬県太田市堀口町	町
B	逆杖のイチヨウ 写真 I-034	11.0m	30m	愛媛県北宇和郡松野町蔵生奥内	県
B	鳥谷部のイチヨウ 写真 I-035	10.9m	18m	青森県上北郡七戸町鳥谷部	なし
B	伊影山神社のイチヨウ 写真 I-036	M10.9m(上部 0.3 2013)	27m	石川県七尾市庵町伊掛山中腹	県
B	持性院下のイチヨウ 写真 I-037	M10.9m(上部 0.3 2007)	28m	徳島県三好市山城町上名	なし
B	古町の大イチヨウ 写真 I-038	10.8m	27m	福島県南会津郡会津町古町	県
B	西椎谷大銀杏 写真 I-039	10.6m	30m	大分県宇佐市院内町西椎谷	町
B	杉ノ木のイチヨウ 写真 I-040	M9.8m(1.3m 2006)	30m	青森県十和田市大不動字八幡	市
B	貝守のイチヨウ 写真 I-041	10.0m	26m	青森県三戸郡三戸町貝守	なし
B	高山不動の大イチヨウ 写真 I-042	M10.2(上部 0.2 2007)	37m	埼玉県飯能市高山	県
B	高照寺の乳公孫樹 写真 I-043	株周 9.1m	14m	千葉県勝浦市勝浦 49	県

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
B	天神のイチョウ 写真 I-044	10.0m	17m	徳島県名西郡石井町高川原字天神	県
B	下の城のイチョウ 写真 I-045	M9.87m(1.3m 2010)	20m	熊本県阿蘇郡小国町下城	国
B	夜泣公孫樹 写真 I-046	M8.1m(1.3m 2008)	35m	石川県白山市瀬戸	村
B	野木神社のいちよう 写真 I-047	7.5m	13m	栃木県下都賀郡野木町野木	町
B	荘田神社の大イチョウ 写真 I-048	M9.52m(0.6m 2015)	45m	群馬県沼田市井土上町字諏訪	県
B	矢神のイチョウ 写真 I-049	9.7m	19m	徳島県名西郡石井町高原字中島	県
B	上高野山の乳下りイチョウ 写真 I-050	M9.42m(1.3m 2014)	18m	広島県庄原市高野町新市	県
B	長興寺の公孫樹 写真 I-051	9.5m	35m	岩手県九戸郡九戸村長興寺	村
B	銀杏木の大イチョウ 写真 I-052	9.4m	20m	青森県むつ市川内町	市
B	有田の大公孫樹 写真 I-053	9.3m	40m	佐賀県西松浦郡有田町泉山1丁目	国
B	岩館のイチョウ 写真 I-054	M9.46m(1.3m 2014)	30m	秋田県由利本荘市東由利蔵岩館	県
B	村山浅間神社のイチョウ 写真 I-055	9.2m	16m	静岡県富士宮市村山	県
B	麟祥院のイチョウ 写真 I-056	8.5m	17m	宮崎県西都市白馬町	なし
B	太田八幡宮の大銀杏 写真 I-057	9.0m	30m	岩手県和賀郡西和賀町沢太田	村
B	逆銀杏 写真 I-058	8.9m	27m	宮城県柴田郡川崎町今宿字銀杏木	県
B	真光寺の大銀杏 写真 I-059	8.9m	35m	新潟県糸魚川市真光寺	県
B	富士金山神社のイチョウ 写真 I-060	8.9m	30m	山梨県南巨摩郡南部町富士字小久保	県
B	上三依観音堂の大イチョウ 写真 I-061	8.8m	17m	栃木県日光市三依熊野堂	町
B	蓮如上人お手植のイチョウ 写真 I-062	M7.7m(1.3m 2007)	29m	石川県津幡町笠ヶ池原	町
B	吉田のイチョウ 写真 I-063	M8.5m(1.3m 2008)	32m	長野県長野市吉田3丁目	市
B	佐用の大イチョウ 写真 I-064	8.6m	29m	兵庫県佐用郡佐用町佐用	県
B	銀杏山神社の連理イチョウ 写真 I-065	株周 M9.47m+M5.6m	28m	秋田県二ツ井町二鮎字坊中	県
B	二又神社のイチョウ 写真 I-066	8.4m	24m	大分県日田市中津江町栃野	市
B	西蓮寺の大イチョウ(一号株) 写真 I-067	8.3m	28m	茨城県行方市西蓮寺	県

■全国の主なイチヨウの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	逆公孫樹 写真 I-068	M8.3m(上部 0.3 2008)	12m	長野県大鹿村鹿塩入沢井	村
B	寺領観音堂のイチヨウ 写真 I-069	8.3m	27m	京都府与謝郡伊根町野村	なし
B	花の木堰の大公孫樹 写真 I-070	8.3m	28m	福岡県直方市植木	県
B	宮園のイチヨウ 写真 I-071	8.3m	43m	熊本県球磨郡五木村甲	県
B	西金砂のイチヨウ 写真 I-072	M9.78m(1.3m 2015)	30m	茨城県常陸太田市上宮河内町字蜂巢	県
B	倉垣天満宮のイチヨウ 写真 I-073	8.22m	23m	大阪府能勢町倉垣	府
B	宮田のイチヨウ(南株) 写真 I-074	M10.6m(1.3m 2006)	28m	青森県青森市宮田	市
B	高倉神社のいちよう 写真 I-075	8.0m	28m	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町日照田町	町
B	東陽寺のイチヨウ 写真 I-076	8.0m	30m	宮城県登米市東和町米谷	町
B	新宮熊野神社のイチヨウ 写真 I-077	8.0m	30m	福島県喜多方市慶徳町新宮	市
B	糠田堂ノ脇乳銀杏 写真 I-078	8.0m	26m	福島県伊達市月館町糠田字堂の脇	町
B	千葉寺ノ公孫樹 写真 I-079	M8.4m(1.3m 2015)	25m	千葉県千葉市中央区千葉寺町	県
B	新穂大野の大イチヨウ 写真 I-080	8.2m	30m	新潟県佐渡市新穂大野	市
B	平石の乳イチヨウ 写真 I-081	M8.25m(1.3m 2007)	30m	高知県土佐市地藏寺	国
B	寺久保の逆さイチヨウ 写真 I-082	8.0m	25m	岩手県二戸市下斗米字寺久保	市
B	対馬琴の大イチヨウ 写真 I-083	株周 12.85m	25m	長崎県対馬市上対馬町琴 675	国
B	善福寺のイチヨウ 写真 I-084	10.4m	20m	東京都港区元麻布 1-6-21	国
B	鶴嶺八幡宮のイチヨウ 写真 I-085	9.0m	29m	神奈川県茅ヶ崎市浜之郷	県
B	銀杏山神社の乳銀杏 写真 I-086	M9.6m(1.3m 2008)	25m	秋田県二ツ井町二鮒	県
B	正法寺のイチヨウ 写真 I-087	株周 M13.1m(1.3 2012)	20m	埼玉県東松山市岩殿	市
B	乳房イチヨウ 写真 I-088	M8.3m(1.3m 2008)	35m	長野県生坂村小立野	県
B	大峰神社のイチヨウ 写真 I-089	M8.0m(1.3m 2007)	21m	石川県鳳珠郡能登町瑞穂字院内	町
B	天神様のイチヨウ 写真 I-090	M12.7m(1.3m 2008)	28m	青森県五戸町倉石又重	村
B	荻神社のイチヨウ	9.3m	35m	大分県竹田市荻町新藤字宮園	町